

主要産地における令和6年産水稲の生育状況等について 第7報 (令和6年6月28日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部(令和6年6月28日)

道府県	区分	生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		年々、指標等に対する遅延等			令和6年産の品種構成の概況
北海道		(6月15日現在) (金道) 草丈はやや短く、実数は平年並、茎数は少ない。生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月17日付)		【全国】 昨年の春から続いていたエルニーニョ現象は終息したとみられる。今後、秋にかけて平年の状態が続く可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 6月10日付)	・「なつめぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっている。主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和6年3月12日) (出典資料は以下同じ)
	(生育)	(空知) 生育は平年並みである。(北海道空知総合振興局 6月17日付) (石狩) 葉先枯れの影響で分けつが発生が確認されている。(北海道石狩振興局 6月17日付) (根室) 草丈・実数は平年並みで、茎数は少ない。生育は平年並に進んでいる。(北海道根室総合振興局 6月17日付) (日高) 生育は平年並に推移している。(北海道日高振興局 6月17日付) (釧路) 生育は平年並となっている。6月17日現在の低温期間により、茎数が少ない。(北海道釧路総合振興局 6月17日付) (上川) 生育は平年並である。(北海道上川総合振興局 6月17日付) (留萌) 生育は平年並に進んでいる。(北海道留萌振興局 6月17日付) (オホーツク) 生育はやや遅れている。(北海道オホーツク総合振興局 6月17日付)			
青森		(6月20日現在) (県生育観測所の生育状況) ・草丈・茎数は平年並、実数は平年を上回っている。本年は地点ごとの生育差が大きく、茎数が少ないほ場も散見される。 (青森県 6月24日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。「青天の霹靂」「はれわたりに」が増加傾向となっている。
	(生育)	(宮城) 草丈は平年並、実数は平年並を上回っている。また、葉色は概ね平年並である。(宮城県農政および米推進課 6月21日付) (大宮) 平年と比べて、草丈はやや短く、実数はやや多い。葉色は平年並からやや濃い。移植が早いほ場では有効茎数が確保されている。 (三 陸) 草丈はほぼ平年並、1㎡当たり実数は平年並を上回っている。また、葉色は平年よりやや濃い傾向となっている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月21日付) (仙 台) 「移植栽培(ひとめぼれ)」の草丈の管内平均値は33.2cm(平年比102%、前年比91%)、葉色は42.4(平年並-0.6、前年並-1.2)でいずれもほぼ平年並の状況。茎数は394.9本/㎡(平年比93%、前年比108%)で平年よりやや少ない状況となっているが、前田調査(平年比79%)と比較すると平年並の数値に近づいている。 (宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日付) (大 崎) 6月第2半旬以降は概ね高温多湿で経過したこと、回復傾向、ほ場平均値の平年並比較は、草丈、実数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%(前回は78%)で平年並に近づいた。5月連休明けに移植したほ場はほとんど自播実数に達した。一方、晩熟移植や継ぎ込みが発生したほ場の一部は回復傾向であるものの、実数がまだ平年並を下回っている。(宮城県大崎農業改良普及センター 6月21日付) (奥 平) 「ひとめぼれ」は草丈・実数が平年並を上回っており、生育が進んでいる。「金のいぶき」は平年より2週間遅い移植だったが、茎数が平年を上回っている。 (宮城県奥平農業改良普及センター 6月21日付) (栗 山) 「ひとめぼれ」は、草丈が平年並みとなったが、茎数は平年並み～やや少なくなっている。実数は平年並み～やや少く、葉色は平年と比べてやや濃く推移している。 (宮城県栗山農業改良普及センター 6月24日付) (鹿 角) 「ひとめぼれ」の草丈、実数は平年並から平年並で推移している。「つや姫」は田植えが早かったこともあり、茎数はかなり多く、すでに有効茎数を確保している。「ササニシキ」の草丈、実数は平年を下回っている。「だて正寿」の草丈、葉色は平年を上回り、茎数は下回っている。「金のいぶき」の草丈は平年を下回っており、茎数、葉色は概ね平年並で推移している。「つきあかり」「つや姫」同様、すでに有効茎数を確保している。 (宮城県鹿角農業改良普及センター 6月24日付) (石 巻) 茎数は平年を超える程度に回復、草丈は長く、葉色は濃い。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月24日付) (気仙沼) 茎数は470本/㎡、葉色は40.7と、生育の目安(目標)を概ね確保しており、生育は順調。また、中干しの時期に達している。 (宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日付)			
岩手		(6月25日現在) ・生育診断予察における生育(県平均)は、草丈が43.6cm(平年並+4.0cm)、茎数は508本/㎡(平年比120%)、実数は9.1葉(平年比+0.8葉)、葉色値は42.4(平年並+1.5)と、いずれも平年を上回っている。 (岩手県農林水産部農業普及技術課 6月26日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「新種のしずく」が、耐病性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
	(生育)	(宮城) 草丈は平年並、実数は平年並を上回っている。また、葉色は概ね平年並である。(宮城県農政および米推進課 6月21日付) (大宮) 平年と比べて、草丈はやや短く、実数はやや多い。葉色は平年並からやや濃い。移植が早いほ場では有効茎数が確保されている。 (三 陸) 草丈はほぼ平年並、1㎡当たり実数は平年並を上回っている。また、葉色は平年よりやや濃い傾向となっている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月21日付) (仙 台) 「移植栽培(ひとめぼれ)」の草丈の管内平均値は33.2cm(平年比102%、前年比91%)、葉色は42.4(平年並-0.6、前年並-1.2)でいずれもほぼ平年並の状況。茎数は394.9本/㎡(平年比93%、前年比108%)で平年よりやや少ない状況となっているが、前田調査(平年比79%)と比較すると平年並の数値に近づいている。 (宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日付) (大 崎) 6月第2半旬以降は概ね高温多湿で経過したこと、回復傾向、ほ場平均値の平年並比較は、草丈、実数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%(前回は78%)で平年並に近づいた。5月連休明けに移植したほ場はほとんど自播実数に達した。一方、晩熟移植や継ぎ込みが発生したほ場の一部は回復傾向であるものの、実数がまだ平年並を下回っている。(宮城県大崎農業改良普及センター 6月21日付) (奥 平) 「ひとめぼれ」は草丈・実数が平年並を上回っており、生育が進んでいる。「金のいぶき」は平年より2週間遅い移植だったが、茎数が平年を上回っている。 (宮城県奥平農業改良普及センター 6月21日付) (栗 山) 「ひとめぼれ」は、草丈が平年並みとなったが、茎数は平年並み～やや少なくなっている。実数は平年並み～やや少く、葉色は平年と比べてやや濃く推移している。 (宮城県栗山農業改良普及センター 6月24日付) (鹿 角) 「ひとめぼれ」の草丈、実数は平年並から平年並で推移している。「つや姫」は田植えが早かったこともあり、茎数はかなり多く、すでに有効茎数を確保している。「ササニシキ」の草丈、実数は平年を下回っている。「だて正寿」の草丈、葉色は平年を上回り、茎数は下回っている。「金のいぶき」の草丈は平年を下回っており、茎数、葉色は概ね平年並で推移している。「つきあかり」「つや姫」同様、すでに有効茎数を確保している。 (宮城県鹿角農業改良普及センター 6月24日付) (石 巻) 茎数は平年を超える程度に回復、草丈は長く、葉色は濃い。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月24日付) (気仙沼) 茎数は470本/㎡、葉色は40.7と、生育の目安(目標)を概ね確保しており、生育は順調。また、中干しの時期に達している。 (宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日付)			
宮城		(6月20日現在) ・古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は38.4cm(平年比107%)、1㎡当たりの実数は577本(平年比118%)、葉色はGM値が43.0(平年並-1.2)、実数は8.3葉(平年並+0.1葉)となっており、平年と比較して茎数は多く、実数は概ね平年並である。(宮城県農政および米推進課 6月21日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
	(生育)	(大宮) 平年と比べて、草丈はやや短く、実数はやや多い。葉色は平年並からやや濃い。移植が早いほ場では有効茎数が確保されている。 (三 陸) 草丈はほぼ平年並、1㎡当たり実数は平年並を上回っている。また、葉色は平年よりやや濃い傾向となっている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月21日付) (仙 台) 「移植栽培(ひとめぼれ)」の草丈の管内平均値は33.2cm(平年比102%、前年比91%)、葉色は42.4(平年並-0.6、前年並-1.2)でいずれもほぼ平年並の状況。茎数は394.9本/㎡(平年比93%、前年比108%)で平年よりやや少ない状況となっているが、前田調査(平年比79%)と比較すると平年並の数値に近づいている。 (宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日付) (大 崎) 6月第2半旬以降は概ね高温多湿で経過したこと、回復傾向、ほ場平均値の平年並比較は、草丈、実数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%(前回は78%)で平年並に近づいた。5月連休明けに移植したほ場はほとんど自播実数に達した。一方、晩熟移植や継ぎ込みが発生したほ場の一部は回復傾向であるものの、実数がまだ平年並を下回っている。(宮城県大崎農業改良普及センター 6月21日付) (奥 平) 「ひとめぼれ」は草丈・実数が平年並を上回っており、生育が進んでいる。「金のいぶき」は平年より2週間遅い移植だったが、茎数が平年を上回っている。 (宮城県奥平農業改良普及センター 6月21日付) (栗 山) 「ひとめぼれ」は、草丈が平年並みとなったが、茎数は平年並み～やや少なくなっている。実数は平年並み～やや少く、葉色は平年と比べてやや濃く推移している。 (宮城県栗山農業改良普及センター 6月24日付) (鹿 角) 「ひとめぼれ」の草丈、実数は平年並から平年並で推移している。「つや姫」は田植えが早かったこともあり、茎数はかなり多く、すでに有効茎数を確保している。「ササニシキ」の草丈、実数は平年を下回っている。「だて正寿」の草丈、葉色は平年を上回り、茎数は下回っている。「金のいぶき」の草丈は平年を下回っており、茎数、葉色は概ね平年並で推移している。「つきあかり」「つや姫」同様、すでに有効茎数を確保している。 (宮城県鹿角農業改良普及センター 6月24日付) (石 巻) 茎数は平年を超える程度に回復、草丈は長く、葉色は濃い。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月24日付) (気仙沼) 茎数は470本/㎡、葉色は40.7と、生育の目安(目標)を概ね確保しており、生育は順調。また、中干しの時期に達している。 (宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日付)			
秋 田		(6月10日現在) 【移植栽培】 ・各地域別調査による定点調査(6月10日)では、「あきたこまち」(84地点)は、草丈25.3cm(平年比100%)、㎡当たり実数124本(前年比94%)、実数6.3葉(平年並+0.2葉)であった。「ひとめぼれ」(8地点)は、草丈27.4cm(平年比98%)、㎡当たり実数207本(前年比97%)、実数6.5葉(平年並-0.1葉)であった。 ・茎数は全体的に平年並に比し少なく、「あきたこまち」は県北で平年並64%、中央で同89%、県南で同82%、「ひとめぼれ」は同78%だった。 ・茎数が少ない要因としては、栽培期間が短く期間であることに加え、移植後の強風による実生の黄化や枯れ枯れ、5月第2半旬から6月1年旬に最高気温の低い期間があり水遣や地温の上昇が確認されたことに加え、茎数の増加が遅れているほ場が多いことが考えられる。		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
	(生育)	(秋田県 6月14日付)			
山 形		(6月25日現在) ・農業総合センター本所及び水田農業研究所の「はえぬき」の生育は、平年と比較して草丈は長く、実数、葉数は多く、葉色は平年並み～やや濃くなっている。また、県内全域で生育は進んでおり、茎数減少となっている圃場が多く見られる。(山形県農林水産部農業技術課 6月25日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、従来品種の新品種「善若丸」が増加傾向にある。
	(生育)	(山形県農林水産部農業技術課 6月25日付)			
福 島		(6月4日調査)【農業総合センターにおける水稲の生育状況】 ・「コシヒカリ」の生育調査では、平年と比べて、本所(郡山市)は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 ・会津地域研究所(会津坂下町)は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 (生育) ・浜地域研究所(相馬市)は、草丈が平年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3葉多くなっている。 (福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、従来品種の新しい「天のつぶ」が定着している。
	(生育)	(福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)			
茨 城		(水戸市) (6月19日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日付) ・幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」、「ふくまるS」ともに7月18日である。 (龍ヶ崎市) (6月27日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日付) ・今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で7月8日、「ふくまるS」で7月10日、「コシヒカリ」で7月20日である。		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な品種の水作付移行が進んでいる。
	(生育)	(茨城県農政課 6月27日付)			
栃 木		(生育概況) (6月21日調査) <登録コシヒカリ> ・草丈：県平均では長い(全体的には前年よりやや短い(95%)) ・実数：県平均では長い(全体的には前年よりやや短い(104%)) ・葉色：全体的に前年並み ・葉色：全体的に前年並み ・葉色：全体的に前年並み ・葉色：全体的に前年並み		【向こう1か月の天候の見通し 6月28日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。
	(生育)	(栃木県農政課 6月21日付)			

千 葉	(生育状況等)		
	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月20日に移植した「コシヒカリ」「あきたけ」は6月20日頃、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃に幼穂形成期を迎えている。いづれも品種も幼穂形成期が平均より3日程度早く進んでいる。 現在の「コシヒカリ」の生育は、草丈が平均並みで、葉数はやや多く、5月1日植えは葉色がやや濃く推移している。 <p>(千葉県農林水産部 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう12か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月結実病害発生が多いと予想される。 (農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたけ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「あきたけ」の本格栽培が開始
新 潟	<p>(6月20日現在の県内全域の生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」では指標値に比べ、草丈は「長い」、葉数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「やや多い」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」状況。 今後も気温が予想されるため、出穂期は平年並に比べて「こいいふき」で5日程度、「コシヒカリ」で9～4日早まる見込み。(新潟県農林水産部 6月21日付) <p>(生育)</p> <p>(6月20日現在)</p> <p>(計 上) 「コシヒカリ」の出穂期は平年より3日程度早い見込み。(村上農業普及指導センター 6月24日付) (新発田) 「コシヒカリ」出穂期は3日程度早まる見込み。(新発田農業普及指導センター 6月20日付) (新 潟) 「コシヒカリ」出穂期は早生、中生とも平年より3日早まる見込み。(新潟農業普及指導センター 6月20日付) (三 島) 「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈「長い」、葉数「多い」、葉数の進み「やや早い」、葉色「濃い」(三島農業普及指導センター 6月20日付) (長 岡) 「コシヒカリ」草丈「長い」、葉数「多い」、葉数「早い」、葉色「濃い」(長岡農業普及指導センター 6月20日付) (魚 沼) 「コシヒカリ」(指標値比較) 草丈「やや長い」、葉数「多い」、葉数「多い」、葉色「濃い」(魚沼農業普及指導センター 6月21日付) (南魚沼) 「コシヒカリ」草丈「やや長い」、葉数「多い」、葉数「やや早い」、葉色「やや濃い」(南魚沼農業普及指導センター 6月20日付) (十日町) 「コシヒカリ」生育は早まっている。(十日町農業普及指導センターほか 6月20日付) (佐 和田) 6月第2半葉からの高温、多曇により「コシヒカリ」「こいいふき」とともに葉数は増加し、葉色は濃くなっている。(上越農業普及指導センター 6月20日付) (佐 和田) 「コシヒカリ」草丈「やや長い」、葉数「多い」、葉数の進み「やや早い」、葉色「濃い」(佐和田農業普及指導センター 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こいいふき」を中心とする品種構成となっている。「こいいふき」及び「あきたけ」の生育が向上している。
富 山	<p>(6月25日 生育観測日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」幼穂形成期は、平年より1日遅い6月25日頃と見込まれる。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年より1日遅い7月16日頃と見込まれる。 「コシヒカリ」平年に比べ、草丈、葉数は、葉数は0.2葉遅い。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は並となっている。 「てんこもり」平年に比べ、草丈はやや長く、葉数はやや多く、葉色は濃く、葉数は0.6葉遅い。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈は並、葉数は並となっている。 「富山富」近年に比べ、草丈は長く、葉数は多く、葉色はやや濃く、葉数は0.3葉遅い。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈は並、葉数は並、葉色はやや濃く、葉色はやや濃くなっている。 <p>(富山県農業技術課 6月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、気温変動も品種が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」の生育が向上している。富山のトップブランドに指定されている「富山富」が増加傾向にある。
石 川		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたけ」を中心とする品種構成であるが、近年、異オシロイシロイ品種の「ひやくまん丸」が増加傾向にある。
福 井	<p>(6月20日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの品種、圃場で中干し時期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエササキ」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
長 野	<p>(移植後30日の生育)</p> <p>【標高348m須原市八重森の農業試験場における水稲生育状況 「あきたこまち、コシヒカリ、風さやか」】 主幹葉数は3品種とも平年並～やや多い。草丈は3品種とも平年より長い。葉数は「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年並に回復し、「風さやか」では平年より3枚程度多い。これは、移植後21～30日の高温により分げつ発生が促されたことによると考えられる。</p> <p>(生育)</p> <p>【標高107m辰村の農村試験場における水稲生育状況 「きらりん、ゆめしなの、あきたこまち」】 平年に比べ主幹葉数は「あきたこまち」「ゆめしなの」で平年並となり、「あきたこまち」ではやや多い、「きらりん」では草丈、葉数とも平年並、「ゆめしなの」、「あきたこまち」では草丈は平年より長く、葉数は多い。これは、移植11～20日の高温による分げつが促進されたためと考えられる。</p> <p>(長野県農業試験場 6月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう12か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。
滋 賀	<p>(農業技術指導センター 水稲作況調査 6月20日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」は平年よりやや短く、「コシヒカリ」は平年並であった。 葉数は、「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」はやや少なかった。 葉色は、「みずかがみ」は平年よりやや濃く、「コシヒカリ」は平年並であった。 主幹葉数は「みずかがみ」は平年より多く、「コシヒカリ」はやや多かった。 6月25日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期(幼穂1.0mm)に適していないが平年並～やや早い時期となる見込み。 <p>(滋賀県農業技術指導センター 6月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿に促された「あきたけ」の作付けが推進されている。
兵 庫	<p>(5月29日現在)</p> <p>【熊本】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【熊野】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(育苗/生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並が多、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 日照時間は、日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪府気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「あきたけ」及び「山崎」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付けが向上している。
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 稲早生種の生育は概ね平年並である。 <p>(岡山県 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛	<p>(6月27日現在) 「ひめの雫」</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月3日移植、田植え後 2.5日時点での茎数は13.4本/株で、昨年度と同程度。 <p>(愛媛県農林水産研究所 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの雫」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>(5月)</p> <p>【早期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調。強風による葉の折れや外葉の枯れが見られるほ場があるが、生育への大きな影響は確認されていない。移植が遅れた一部ほ場でスクミンゴガイによる欠株が多く見られたほか、苗いもちを持ち込んだほ場で葉いもちの発生が見られた。 <p>【普通期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移植は5月初旬から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 一部で育苗期間中に苗いもちやばか苗病の発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。 <p>(高知県病害虫防除所 6月5日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 平年並～やや高い気温で経過しており、活潑は概ね順調。 <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、6月上中旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 田植えは、「夢つくし」で6月上中旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 5月22日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリサーチング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(5月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期水稲は分けつ期 <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みこぼし」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：県及び地方自治体、関係機関等がホームページで公表している資料を基に情報提供しております。
注2：生育状況等(農林水産省公表資料の抜粋)については令和6年6月28日 15時時点での取り纏め。
注3：更新情報は最新で表した。

引用資料:

農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道農政部 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道空知総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道石狩総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道後志総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道胆振総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道渡島総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道日高総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道檜山総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道上川総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況調査の概要(6月15日現在)(北海道留萌総合振興局 6月17日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況(6月15日現在)(北海道オホーツク総合振興局 6月17日)、
稲作生産情報第4号(青森県 6月24日)、
令和6年度岩手県内の水稻の生育概況(6月25日現在 速報)(岩手県農林水産部農業技術普及課 6月26日)、
令和6年度水稻の生育状況について(6月20日現在)(宮城県 6月21日)、
令和6年度仙南稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月21日)、
令和6年度稲作情報第3号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月21日)、
仙台稲作情報2024(第3号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月21日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県登米農業改良普及センター 6月21日)、
大崎稲作情報第4号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月21日)、
令和6年度美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良センター 6月20日)、
栗原の稲作通信令和6年度第4号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月24日)、
稲作情報vol.4(宮城県石巻農業改良普及センター 6月24日)、
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第4号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月21日)、
作況ニュース(第3号)(秋田県農林水産部 6月14日)、
米づくり 技術情報 No.10(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 6月25日)、
東南おきたまづくり情報No.7(山形県置賜総合支庁農業技術普及課 6月21日)、
酒田・飽海米づくり情報第8号(山形県庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月21日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第3号(令和6年6月10日現在)(福島県 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日)、
水稻生育診断速報2024No.3(栃木県農政部経営技術課 6月27日)、
水稻の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、
水稻の生育状況と今後の管理対策(第3号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
R6岩船米生育速報(6月20日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 6月24日)、
令和6年度新発田地域水稻生育速報No.3(新潟県新発田農業普及指導センター 6月20日)、
稲作速報No.3(新潟県新潟農業普及指導センター 6月20日)、
FAX稲作情報No.5(新潟県三条農業普及指導センター 6月20日)、
水稻生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 6月20日)、
コシヒカリ生育情報第1号(新潟県魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.3(6月20日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月20日)、
令和6年度上越地域米コシヒカリ・こいぶき生育速報No.3(新潟県上越農業普及指導センター 6月20日)、
令和6年度稲作生育速報No.3(新潟県佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
TACS情報第5号(富山県 6月25日)、
稲作情報No.9(水稻レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 6月21日)、
農業試験場水稻試験圃の生育状況(長野県農業試験場 6月26日)、
水稻高標高試験圃の生育状況(長野県農業試験場 6月26日)、
令和6年度稲作生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、
令和6年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月27日)、
2024年産`ひめの雫`の生育状況(愛媛県農林水産研究所 6月27日)、
病害虫発生予察情報について令和6年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
主な農産物の生産状況(令和6年5月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月22日)、
令和6年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月27日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月27日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月27日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月27日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月27日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月27日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月27日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月27日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月27日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月27日14時30分)(気象庁)、

エルニーニョ監視速報(No.381)(気象庁 6月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月12日)、
令和6年度水稻の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)